

保科アカデミー室内管弦楽団 創立15周年記念特別演奏会東京公演

チャイコフスキー
交響曲第6番 短調『悲愴』

保科 洋
『風紋』[原典版]管弦楽版(関東初演)
『管弦楽のための変奏曲』

指揮:保科洋(音楽総監督)・秋山隆(常任指揮者)

2009年8月29日(土) 18:30開演(17:45開場)

すみだトリフォニーホール (JR錦糸町駅すぐ)

一般:前売1500円 当日2000円/学生(大学迄):前売500円 当日1000円

保科アカデミー室内管弦楽団は、ちょっと「ヘン」なオーケストラです。
何が「ヘン」かという、全員が、『保科節』(ほしなぶし=「保科理論」に基づく音楽解釈と演奏)の中毒者なのです。『保科節ってナンダ?!』東京の皆様は、そう思われるかも知れません。でも、アカデミーの地元岡山では、結構有名です。百聞は一聴に如かず。音質は悪いですが、YouTubeで聴けますから是非聴いて下さい!
<http://www.youtube.com/user/HoshinaMusic>

保科アカデミーは、常任指揮者を含め全員が岡山大学交響楽団関係者(OB、現役団員)です。練習は、平均月に一回。決して恵まれた練習環境ではありません。が、岡大オケ時代に培った『保科節』を団員共通の表現として、驚くべき効率の良さで、音楽を磨き上げて行きます。他に類を見ない「岡大メソッド」は、管楽器専門誌「Pipers」で取り上げられ、話題になりました。音楽へのあくなき追求とそれを可能にするメソッド、その結果生まれる演奏に、『アマチュア・オーケストラでもこんな表現が出来るのか!』と、きっと皆様は驚かれるでしょう。

今回は15周年記念として、チャイコフスキーの「悲愴」を取り上げました。この曲は、もっとも『保科節』が似合う曲、もっともアカデミーらしさが発揮できる曲です。また、吹奏楽ファンの皆様にも楽しめる、『風紋』『変奏曲』もプログラムに入っています。(変奏曲の終曲は、『Lamentation to-』として吹奏楽版にアレンジされています)更に、アカデミーがどのように音楽を創っているのかを実感していただくため、ご来場の皆様全員に特典として、保科洋の書き下ろし小冊子『悲愴/風紋アナリーゼ&演奏法(仮題)』を差し上げます(非売品)。どうぞご期待下さい!

抽選で毎月10組20名様をご招待致します!

Mail, Faxご利用の方は、住所、氏名、年齢、チラシを受け取った演奏会名をお知らせ下さい

チケット販売&チケットプレゼントお申込み先

<http://www.concertsquare.jp/blog/2009/200906015.html> (コンサートスクエア)

<http://www.hoshina-music.com/academy2009/>

mail : academy2009@hoshina-music.com

Tel & Fax: 086-253-3703(秋山)

*東京版チラシ第1版に学生価格のミスがありましたこととお詫びします。